

議 事 録

件 名		令和6年度 第2回 久留米市男女平等推進センター運営委員会
日 時		令和6年12月17日（火） 16：00～17：30
場 所		えーるピア久留米 男女平等推進センター210・211研修室
出席者	委員	堀田委員、末崎委員、矢ヶ部委員、近藤委員、佐藤委員、寺崎委員、中尾委員、酒井委員、松本委員、樋口委員、笠委員、伊崎委員
	事務局	酒井、大場、菅山、蓮尾（男女平等推進センター）
	ワザハ-	高口、水落（男女平等政策課）
欠 席 委 員		永松委員
傍 聴 者		0名
配 布 資 料		■ 次第 ■ 【議事（1）】 令和6年度 施設の利用状況（10月末現在） ■ 【議事（1）】 令和6年度 事業実施概要（11月末現在） ■ 【議事（2）】 男女平等推進センター情報事業の現状について
議 事 内 容		
1 開会 2 議事 （1）令和6年度事業報告について ・施設の利用状況（10月末現在） ・事業実施状況（11月末現在） （2）情報事業の現状について 3 その他 4 閉会		

議 事 内 容

【質疑応答】

議事（１）令和６年度事業報告について

- （委 員）地域会場でフォーラムの事業が始まっているにもかかわらず、地域にフォーラムの旗が立っていなかった。地域の事業が始まる前に早めに旗を掲げてほしい。また、掲示しているチラシがなくなっている時期があった。なるべくそういう時期がないようお願いしたい。
- （事務局）女性週間の旗については、女性週間の期間に旗を設置している。場所は市役所本庁、JR久留米駅など。フォーラム啓発旗の設置についてはえーるピア館内は女性週間に合わせている。館外については、風で飛んだり、歩行中の市民への危険性があるため、メイン企画がある土日のみ設置している。地域会場については、当日のみ設置という考え方で対応している。チラシについては、市民企画のチラシが減っており追加印刷した経緯があった。今後は、各市民企画団体に多めに印刷するよう依頼するとともに、なくなりそうな場合は団体に声かけしたり、事務局で印刷するよう対応したい。
- （委 員）女性週間の前からえーるピア館内に設置した方が良い。１１月の女性に対する暴力をなくすキャンペーンと比べると寂しい。啓発の意味でもう少し早くから展示や飾りつけをするようお願いしたい。
- （事務局）１１月のパープルリボンキャンペーンも期間中だけ設置している。いただいた意見については他の全市事業の対応などを見て検討したい。
- （委 員）ポスター、事業周知などは早い方が良い。
- （委 員）PR不足と感じる。市民が企画を早く分かるようにしてほしい。（回答不要）
- （委 員）男女共同参画のまちづくり講座について、１年１か所ではなくて何か所か実施してほしい。
- （事務局）この講座は活性化している校区から手を挙げてもらい、連続講座として受講してもらう。毎年２校区程度の受講を想定し予算化している。校区での聞き取りにあわせて講座内容を組み立てている。今年度は鳥飼校区と京町校区の２校区で準備している。
委員ご指摘のとおり、最終的には全校区で受講してほしいので、毎年地道にしっかり事業を進めている。各校区への出前講座を行っているので、そこで標準的な知識を得てもらい、この講座でさらに掘り下げてほしいと思っている。
- （委 員）地域からの申し出がないと講座を行わないということか。例えば人権問題については校区で定期的に学ぶよう、校区の年間計画に組み込まれている。男女平等についてもぜひ町内の計画に組むような働きかけをしてほしい。町内には男性役員が多く、もっと女性に活躍してもらわないとおかしいと思う。依頼がなければ講座をしないという考え方は遅れている。男女平等への取り組みは地域からやっていくべきものと思っている。
- （事務局）出前講座も地域等から依頼があったときに講座を行っている。男女平等についても人権と同じように各校区の委嘱学級でされている。その他、男女平等推進センター図書情報ステーションに相談してビデオ学習を自分たちで行ったり、出前講座についても男女平等政策課の出前講座を活用したりしている校区もある。すべての校区に定期的に行けているかどうかについては統計を取っていないため、明確な回答は控えるが、今後も各校区に対して積極的に働きかけを行っていききたい。
- （委 員）男女共同参画については地域の意識を変えることが大事である。こちらから計画的に、体系的に仕組みを作って、地域への働きかけをよろしくをお願いしたい。（回答不要）
- （委 員）男女共同参画サポーターとして、地域啓発講座を行っているが、地域によって差がある。グループワークに入って様子を見てみてもびっくりする状況があるのでそういう校区にまず行政が入るとサポーターが啓発に行きやすくなる。地域の実態もつかんでほしいと思う。
- （委 員）地域の女性参画が一番遅れている。男女平等推進センターは拠点施設として講座をしており、地域にも行ってもらっている。地域での男女共同参画については市に協働推進課等があり、地域における女性役員推進の役割もある。センター単独でこれだけ回っているの、

これからは協働推進課等と連携し、全体で取り組まなければならない。また、委嘱学級は生涯学習推進課が担当している。男女共同参画の推進については全庁的に行動計画の中でそれぞれが取り組みをしている。センターや男女平等政策課は中心となって一体で進めてもらえればと思う。

(委員) ①調査研究事業について、a. DV被害者支援システムづくりプロジェクトと b. 性暴力防止プログラムづくりプロジェクトの欄が空欄だが、実施予定があるかどうか、どういう考え方なのか。②すでに終わった事業の参加人数を教えてほしい。③P 3 の施設の利用状況の相談人数について、電話の人数を引いたと説明があった。それなら前年同月実績を今年度の実績と同じように表現を変えてほしい。④P 4 の貸室について登録団体の貸室が減っているがなぜか。⑤P 9 の主訴が身体的DVが去年よりかなり増えている。身体的DVが増えていることについて何か見えているものがあれば教えてほしい。

(事務局) ①DVプロジェクトについては、毎年2月・3月ごろに集中的に行っている。今年も同じように進める予定。昨年度は、各部に依頼して作成したDVマニュアル見直しについて、研究員3人と課題を整理した。今年度は、各課にヒアリングし、実態に沿った修正を行うことを考えている。性暴力防止プロジェクトについては、夏に久留米大看護学生による公開講座とその後のワーキングを開催する予定だった。しかしながら、講師の大学生側で夏の日程調整が付かなかったため、再調整し、講座は3月上旬を予定している。その後のワーキングについては、年度末のため開催せずに、講座の意見聴取までとなるか、まだ未確定の状態である。②最新の事業実績について後で報告したい。③次回は前年実績を同じように表記する。④登録団体の減少傾向やメンバーの高齢化などが考えられ、実際、団体が休止したりもしている。はっきりした理由は不明だが、そのような傾向はある。団体の活性化や新規団体の育成については重要だと考えている。⑤久留米警察署からの情報提供からセンターにつながる事例も増えており、警察からつながった相談は、主訴を身体的DVで選ぶ傾向があると思われる。このようなケースがひとつの要因と推察される。

(事務局) 委員質問の②12月実施事業分の実績を報告。

(委員) 事務局説明の折に、12月分についても最新の実績を説明してほしい。(回答不要)

議事(2) 情報事業の現状について

(委員) ①在庫の本がなくなったりすることがあると思うが、在庫確認などしているか。②新刊購入について、人気がある書籍についてはリクエストをしても実際に手に入るのは1か月後などになる。予約ランキングなどを見ることができるのか、もし見れるのであれば、人気がある書籍を多めに購入したりしているのか。

(事務局) ①毎月第2・4木曜日は定例の整理日としている。またそれとは別に特別整理を隔年、中央図書館等と時期をずらして実施している。書籍の盗難は発生していないようだが、破損はある。破損したときは弁償してもらっている。②新刊リクエストについては、検討の上、センターで選書している。その結果を依頼者に報告している。月に1~2件程度となっている。中には他館で購入しても良いような書籍もあり、逆に男女センターで購入した方が良いようなものがあり、他館とやりとりしながらリクエストの受付を行っている。予約ランキングについては、中央図書館では行っている。男女センターでは統計を取るとコミックが上位に入る。複数冊購入するほどの状況ではない。今後も貸出増に向け工夫検討していきたい。

その他

(事務局) ZEB化工事について現在の状況等を説明

質疑なし。

(事務局) 次回の運営委員会は令和7年3月に予定している。

【質疑終了】